

## 計画の推進に向けた評価方法について

### 1 評価に必要な要素

- (1) 評価の根拠（実績からどのように評価を導き出したのか）が見えること  
【PDCA サイクルのD（実施）→ C（評価）のつながりの明確化】
- (2) 今後の取組の根拠（なぜその取組が今後必要なのか）が見えること  
【PDCA サイクルのC（評価）→ A（改善）又はP（計画）のつながりの明確化】

### 2 評価方法見直しのポイント

- (1) 可能な限り定量的に評価（目標達成率、対前年度比などを踏まえた評価）
- (2) 評価の道筋の見える化（評価の基準の明確化）

### 3 第6期障がい福祉計画等の評価方法の概要

計画のパートごとに、以下の①～④のいずれかを踏まえ総合評価を3段階（A、B、C）で判定

- ① 目標達成度（実績/目標値による）
- ② 活動量（対前年度比＝当年度実績/前年度実績による）
- ③ 見込量の確保度（実績/見込量による）
- ④ 取組の進捗度（取組状況を定性的に評価）

第6期吹田市障がい福祉計画		総合評価に当たって踏まえる項目			
		①目標達成度	②活動量	③見込量の確保度	④取組の進捗度
2 成果目標	(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行				
	(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築				
	(3) 地域生活支援拠点等有する機能の充実				
	(4) 福祉施設から一般就労への移行等	●	●		●
	(5) 相談支援体制の充実・強化等				
	(6) 障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築				
3 障がい福祉サービス等の利用見込みとその確保策	(1) 障がい福祉サービス及び相談支援サービス			●	●
	(2) 地域生活支援事業				
4 障がい福祉サービス等の円滑な提供に向けた取組	(1) 障がいを理由とする差別				
	(2) コミュニケーション支援の促進				
	(3) 障がい者に対する虐待の防止				●
	(4) 事業所における利用者の安全確保及び研修等の充実				
	(5) 障がい福祉人材の確保、定着及び養成				

第2期吹田市障がい児福祉計画		総合評価に当たって踏まえる項目			
		①目標達成度	②活動量	③見込量の確保	④取組の進捗度
2 成果目標	(1) 障がい児通所支援等	●			●
3 障がい児福祉サービス等の利用見込みとその確保策	(1) 障がい児通所支援等			●	●
	(2) 地域生活支援事業			●	●
	(3) 子ども・子育て支援等			●	●